

揖斐警察署・機動警察通信隊
合同警備実施本部設置訓練

9月1日(木)、大地震によって揖斐警察署の庁舎が倒壊したという想定で、揖斐川町役場に警備実施本部を設置する訓練が行われました。揖斐警察署と揖斐川町は、8月9日に災害時における施設借用の協定を結んでいます。



▲通信機器を設置し、訓練を実施する揖斐署員

揖斐警察署員と警察庁中部管区警察局岐阜県情報通信部機動警察通信隊員の計17人が参加して行われた訓練では、無線機や電話などの通信機器を運び込んで設置。県警本部などと受信のテストを行いました。

揖斐警察署の石原治署長は、「大きな災害時には、少しでも早く正確な情報を集めることが大切であり、今回の訓練で災害時の対応が確認できました。」と話されました。

第2回芸能の夕べ

〈伝統的な邦楽で地域を元気に〉

9月10日(土)、三輪神社(三輪)で「第2回芸能の夕べ」が開催され、約350人の来場者で賑わいました。

このイベントは、町の中心市街地を活性化させようと、地元の女性らで実行委員会をつくり昨年から実施しています。



▲津軽三味線の演奏 (三輪神社舞殿にて)

実行委員会代表の長屋静江さんは、「この自然豊かなふる里を次世代に引き継いでいきたい」と思い、活動を始めました。今後も地域の活性化のために継続していきたいです。」とあいさつされました。

演奏会では、迫力ある和太鼓や尺八と琴の合奏、津軽三味線など約20曲が披露され、境内に美しい音色が響き渡りました。

揖斐地域環境塾

〈大根の種まき〉

9月10日(土)、いびがわみずみずエコステーション体験農場(極楽寺)で、大根の種まきが行われました。

この農場は、生ごみを再利用した堆肥が利用されています。



▲大根の種まきをする親子

揖斐郡内のNPO法人で構成するいびNPO法人連絡協議会が開催する「いび地域環境塾」の講座の一環で、種まきには、揖斐郡内の親子約30人が参加しました。

参加者は、JAいび川の職員の指導によって約500平方メートルの畑に約6000粒の種をまきました。自分がまいた場所には、名前を書いた木札を立てて、「11月に行われる収穫が楽しみです。」と話していました。

厚生労働大臣特別表彰

〈民生委員児童委員〉

9月13日(火)、揖斐川町役場で、民生委員児童委員を長年務められ、厚生労働大臣特別表彰などを受けた方への伝達式が行われました。受賞された皆さんは次の方々です。



▲受賞おめでとうございます

◎厚生労働大臣特別表彰
宮内 勇之さん (春日中山)
小寺 兵藏さん (春日川合)
石原しなへさん (三輪)
森 榮久さん (春日六合)
六ツ名得誠さん (谷汲名礼)
中河の志象さん (西横山)

◎全国民生委員児童委員連合会表彰
田中ひで子さん (胥永)
久保田博子さん (三輪)
細野 妙子さん (下岡島)



▲谷汲地区敬老会の様子（谷汲サンサンホール）

揖斐川町敬老会

～各地区で長寿をお祝い～

9月15日（木）および18日（日）に、町内16の会場で、町内在住77歳以上の方を対象に「平成23年度 揖斐川町敬老会」が開催され、1460人の方が参加されました。

この行事は、長年にわたり社会に貢献されてきた高齢者の皆さんを敬愛し、長寿をお祝いする目的で行われています。各会場では、式典のほか、地元の園児や児童、ボランティア団体などによる多彩な催しが行われ、会場は笑顔で溢れていました。

地域連携型作業製品販売所開設

～揖斐特別支援学校高等部～

9月16日（金）、揖斐特別支援学校（谷汲深坂）の生徒が作った農産物などの販売所が旧名鉄谷汲駅（谷汲徳積）にオープンしました。

販売所は、NPO法人ふるさと谷汲の協力で設置され、揖斐特別支援学校高等部の生徒が作った野菜や花、竹製品などが販売されました。この販売を通して、生徒たちが地域の人々との連携を深め、接客によって態度やマナーの向上を図ることを目的としています。



▲自分たちで作った商品を販売する生徒たち

販売所は、谷汲山華厳寺の命日である毎月18日に開設されます。（18日が土・日・祝日の場合は、変更あり）

夜空に舞うほうろ

～川上ほうろ踊り～

300年以上前から伝わる「川上ほうろ踊り」が9月17日（土）、坂内地域の八幡神社例祭で奉納されました。

川上ほうろ踊りは、農作物の収穫に感謝し、雨乞いを祈願する踊りとしてはじまったとされています。踊りは総勢約30人で、ほうろを背負った太鼓打ちと警固と呼ばれる着物姿の子どもたちが踊ります。

踊り手が背負う「ほうろ」は、白い綿の塊で飾られた竹が前の日に準備され、竹の長さは、5メートルほどあります。

夜に行われるこの踊りは、鐘や太鼓をたたき、薬師堂や八幡神社で披露され、飾られたほうろは、賑やかな音色とともに、夜空に舞いました。



▲夜空に幻想的な「ほうろ」が舞いました

白檜踊

～地域ぐるみで伝承～

9月18日（日）、白檜神社などで白檜踊りが披露されました。

白檜踊りは、およそ800年の歴史を誇り、源氏の武将が平家に勝利したことを祝って踊ったのが由来とされ、江戸時代に日照りが続いた際に、大垣藩主の戸田家が命じて踊ると雨が降り、その功績を称え、その家紋である九曜星（くようぼし）を付けることをゆるされたとされている伝統の舞です。

踊りは、白檜地区の公会堂、光蓮寺白檜神社の3か所で踊りが披露されました。

揖斐川町には、鎌倉時代の頃に起源を持つといわれる太鼓踊りが多くの地区で継承されています。



▲公会堂での奉納踊り

貝原棚田で稲刈り

～春日小学校～

9月22日(木)、ぎふの棚田21選に認定されている貝原棚田(春日美東)で、春日小学校の児童44人が稲刈り体験をしました。

児童たちは、5月に自分たちで田植えをした棚田で、地元農家の方々の指導を受けながら稲刈りに挑戦しました。

刈り取られた稲は、4束ずつまとめて縛り、稲を乾燥させる「はさ掛け」までを行いました。

高学年の児童などは、3年生の時から稲刈り体験をしているため、慣れた手つきで素早く刈り取っていました。刈り取られた稲からとれたお米は、12月に両親や祖父母を学校に招き、おにぎりなどにして食べる予定です。



▲刈り取った稲をはさ掛けする児童

定住化促進を目指して

～町営住宅建設安全祈願祭～

9月22日(木)、養老鉄道揖斐駅に隣接する町営住宅建設地で安全祈願祭が行われました。

建設される町営住宅は、平成24年10月に完成予定で、鉄筋コンクリート造り5階建て、30戸が入居可能で、各部屋ベランダ付きの3DK約70平方メートルです。

安全祈願祭には、地元関係者ら約50人が出席しました。

宗宮町長は「住んで良かったと言われる町を目指して定住化を進めます。養老鉄道揖斐駅周辺への民間による住宅建設も促し、地域を活性化させていきたい。」とあいさつしました。

町営住宅建設によって、養老鉄道の利用促進と定住人口の増加が期待されます。



▲神事の様子 (穿初の儀)

坂内坂本神の踊り

9月23日(祝金)、坂内坂本地区で秋の大祭が行われ、神の踊りが五社神社で披露されました。

神の踊りは、400年ほど前より伝わる芸能として受け継がれており、五穀豊穡と家内安全を祈願します。

踊りは古調を正しく伝えて風情豊かに踊られ、全国の民俗芸能の中で質の良い風流太鼓踊りだとされています。

現在は、坂本神の踊り保存会(会長 平野克彦)が伝承しており、地元の小生から50代までが地域ぐるみで保存しています。

華やかな衣装に身を包みゆつたりとした独特な舞は多くの観客を魅了しました。



▲五社神社で奉納された神の踊り

セントジョージマラソン 国際交流事業

9月28日(水)から10月5日(水)まで、アメリカ・ユタ州・セントジョージ市とのマラソン交流事業が行われました。昨年のおいびがわマラソンで優秀な成績を収められたランナーの皆さんが、10月1日(土)のセントジョージマラソンに参加し、見事完走されました。

成績は次のとおりです。(敬称略)

- 片岡 哲朗 2時間35分27秒 (男子フル15位)
- 風岡 さやか 2時間59分9秒 (女子フル13位)
- 西田 知弘 3時間47分38秒 (男子フル1061位)
- 上田 智美 5時間8分34秒 (女子フル1874位)



▲セントジョージマラソンに参加された選手の皆さん (左から上田さん、片岡さん、西田さん、風岡さん)